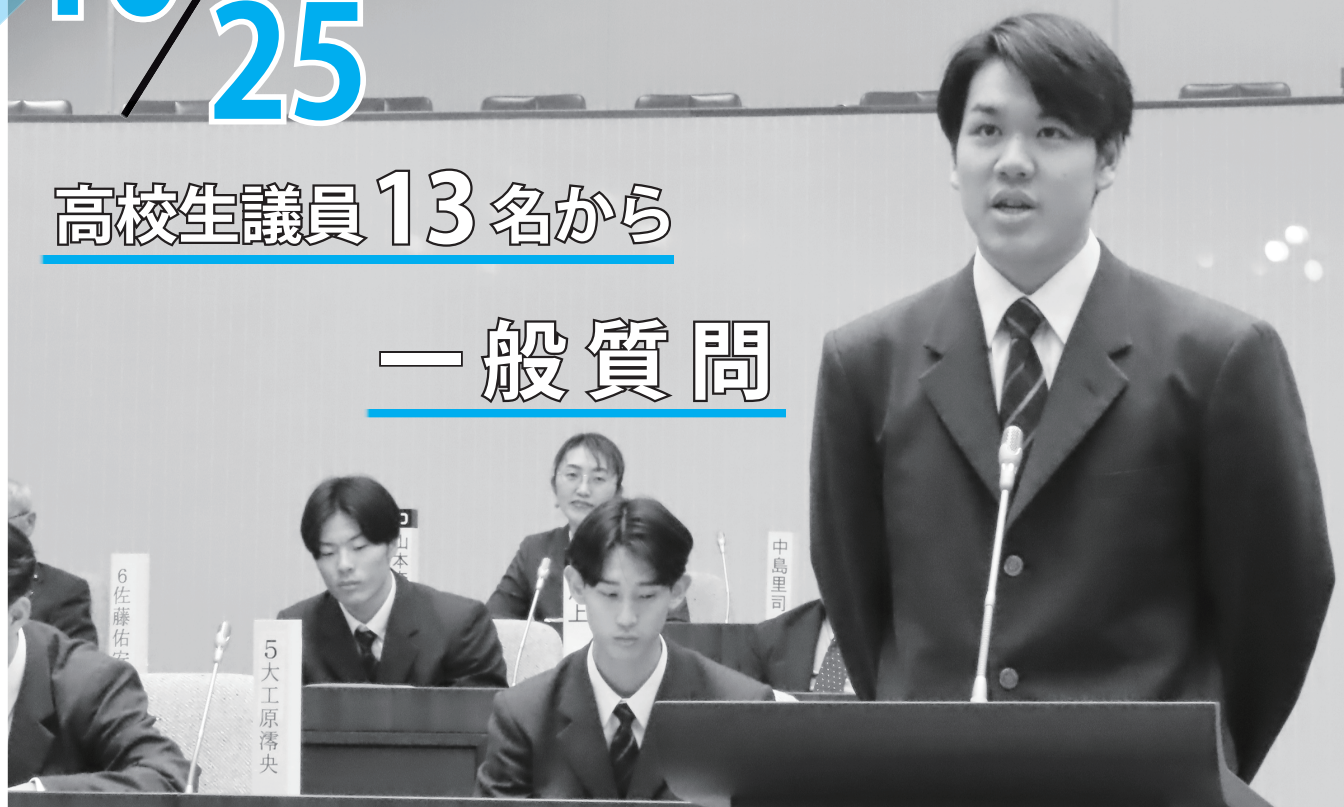


10/25

清水高校生模擬議会

高校生議員13名から

一般質問



清水高校3年生が 町の発展を願い政策を提言

清水高校の3年生13名が「総合的な探究の時間『社会探究』」の一環として、10月25日、本会議場で模擬議会に臨みました。

町議会の疑似体験を通じ、町政に対する提案などを発表する機会を提供することにより、本町の将来を担う高校生の社会や政治に対する参加意識の向上を図るとともに、本町の議会やまちづくりに関する理解、関心を深めることを目的として、令和2年度から実施し今回で5回目の取り組みとなります。

高校生は模擬議会開催までの間に、地域の実態を2日間かけて調査し、議会の仕組みや一般質問についての事

前学習、まちづくり案及び質問の作成などの活動に取り組んできました。議会議員とは2回の勉強会を行い、8月30日に議会運営委員から一般質問へ向けた情報収集や質問の組み立て方、10月11日はリハーサルを行い、全議員から再質問のポイント等についてアドバイスを受けました。

模擬議会当日は議場において、阿部町長をはじめ副町長、教育長、課長職の出席のもと、山下議長による進行により、本会議と同様に議事が進められ、ユーチューブで生配信も行いました。

一般質問は4グループに分かれて行われ、9項目について質問がありました。

各グループは、25分の持ち時間をいっぱいを使い、鋭い質問や提案を投げかけ、理事者側からの答弁を引き出していました。



鋭い質問で議論を深める



• • • こんな 質問 がありました (抜粋) • • •

学食 (①グループ)

問 清水高校では現在全校生徒の人数が減少傾向にある。生徒は原則お弁当を持参している。親の負担を考えると、昼食を学校で用意できることは生徒募集の柱にもなると感じている。高校生が増えることは清水町にとっても大きなメリットだと思う。

答 北海道教育委員会が取り扱う事項となるため町で決めることはできない。しかし、清水高校振興会においては、皆さんの学校生活の充実と、多くの入学者を迎えるためにしっかりと意見を聞き、学校長並びに北海道教育委員会へ声を届けていきたいと考えている。

廃墟の撤去 (②グループ)

問 観光客への印象が悪い、人が寄ってこない。きれいにするだけで少しでも住みやすく、建物も新しくたてることができる。廃墟について撤去する予算などは組み込まれているのか。

答 老朽化により取り壊す際は、空き家の撤去に係る予算として廃屋解体撤去事業補助金制度を設けている。

この制度は平成27年度から開始し、清水町及び御影市街地を対象に廃屋化した住宅等の解体、撤去を希望する所有者に、費用に要する額の2分の1、最大50万円の補助を行っている。堀・囲いについても、最大10万円の補助を行っている。

清水高校に食品自販機の設置 (③グループ)

問 週に3回のパン販売だけでは足りなくて食品自販機があれば高校生活が豊かになると考える。

食品自販機があることによって清水高校に入学する人が増えると思う。

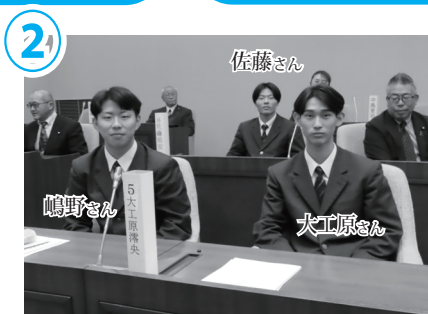
答 設置には、施設管理者である学校長や北海道教育委員会への申請と許可以外にも電気料や設置費用の支出など、設置に係る諸条件への対応が必要となると思われる。

すでに食品自販機を設置している学校もあるので、そういったところに話を聞き、また、清水高校振興会とも相談して設置可能かどうか検討していきたい。

除雪について (④グループ)

問 毎年の冬に歩道が除雪されていなくて歩けない。小学生とか車道を歩いていて危ないことがあったりする。通学路だけでもいいから除雪をしてもらいたいが歩道の除雪はやっているのか。

答 基本的に小型ロータリー車5台で除雪を行っているが、道路構造上歩道が狭い場所については、手押しの小型除雪機1台や町職員によるスコップ等の手作業により対応している。雪の降り具合によっては通学時間までに除雪が間に合わない場合もあるが、その時の状況に応じ登校時間を遅らせることや臨時休校等の対応を含め、児童が安心して通行できるよう実施していく。



模擬議会に出席した 高校生議員

- ①グループ
石 塚 弘 人 さん
岩 本 誠 幸 さん
本 地 将 大 さん
- ②グループ
嶋 野 広 瑛 さん
大工原 滯 央 さん
佐 藤 佑 安 さん
- ③グループ
工 藤 秀 生 さん
下 坪 丈 馬 さん
- ④グループ
竹 本 麻 歩 さん
横 山 陽 菜 さん
恩 田 寿 梨 さん
鈴 木 楓 華 さん
三 浦 愛 里 さん

終了後、ほっとしたところで記念撮影